

令和3年度 第7回定例庁議 議事報告

開催日時：令和3年10月14日（木）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

【進行：政策課長】

1 開会

2 市長あいさつ

議会第3回定例会において、議会や市民の声を聴く中で、議案の差し替えを行った。私たちは、市民のために仕事をしていることから、市民の声を真摯に受け止める中で、物事を進める必要がある。私は、今回とった対応のように、市政に柔軟な姿勢で取り組んでいきたいと思っている。職員からの意見も良いものは積極的に取り入れていきたいと思っているので、部長は職員にも遠慮なく意見を出すように伝えて欲しい。

新型コロナウイルス感染症は、新規感染者数が減少し、収束に向かっている様子もある。現在の状況から、家族で出かけたり親戚にあったりすることもあると思うが、これからインフルエンザ等も流行する時季になるため、気を緩めることなく過ごして欲しい。

先日の市制祭では、笛吹市観光大使の前田卓也さんが作詞作曲した、笛吹市応援ソングが披露された。前田さんから市役所の電話の保留音にも使って欲しいとのリクエストもあったので、今後応援ソングを活用し、盛り上げていきたいと考えている。

3 協議・報告事項（議長：副市長）

- (1) 保育所等の入所申請における業務効率化について(保健福祉部)
説明：保健福祉部長

【説明内容】

資料に沿って説明（子育て支援課長、保育担当）

【質問意見等】

（総務部長）

この件については、手作業でやっていた業務を機械化することで、人も時間も省けるという非常にメリットしか感じないような話だった。令和元年12月に取り組み出したが、昨年度は担当課での動きがなく、やっとここで動き出し、ここまで非常に時間がかかった。市長からの推進するようにとの指示により、今回、このように取り組んでもらった経過があるが、なかなか具体的な動きにならなかった点は、職員の意識を変えなければならないと非常に感じている。

総務部としては、今回の取組は全庁的なモデルケースとして位置づけている。他の部署においても、対面で受け付けをし、紙データを手で入力しているような業務も多々あると思う。今年度、そういった業務については、業務分析により洗い出しを行っていると思うが、徐々に、今回説明のあったような形に移行していきたいと思う。

そして、今回動きが遅かったことは、臨時職員か正規職員か分からないが、手作業で入力しても間に合っており、人的な余裕があるのではないかと感じた。今後は業務分析の成果を生かして、こういった業務については、着実に機械化を進めていけるよう、各部でも子育て支援課での実際の様子を見学するなどして、積極的に取り組んで欲しい。

子育て支援課においては、今年度の申請に間に合わせてもらったことに感謝する。

（市民環境部長）

保護者などの本人確認が必要だと思うが、マイナンバーカードを絡めることはできないのか。

（保育担当）

本人確認の書類は、免許証等、身分証明書の写真を添付してもらうこととしている。

マイナンバーカードを使った申請では、ICカードリーダーが必要となるなど、申請のハードルが高くなることも考えられることから、今回のやり方とした。

（市民環境部長）

マイナンバーカードの普及を推進していく担当部署としては、マイナンバーカードを利用した申請も可能となるようにしていければと思っています。

(保健福祉部長)

概要書の問題課題に記載してあるが、国でも行政手続きのオンライン化、いわゆるマイナポータルを利用した各種行政手続きを進めている。その中には、保育所の入所手続きも含まれているが、まだ具体的なものが示されていない状況でもあるので、先行して取り組んでいくこととした。

今後、他の窓口の申請手続きにおいてもマイナポータルを利用した手続きが進んでくると思うので、適宜情報収集を行い、取り組んでいけるようにしていく必要があると思う。

(副市長)

総務部長からも話があったが、各部署において、もう一度自分たちの所掌事務を見直し、業務の効率化に取り組んで欲しい。

また、マイナポータルなどを利用した手続きの電子化についても積極的に活用し効率化を図っていくということを、再度確認させていただく。

4 その他

- * 随時庁議予定日 令和3年11月1日(月) 午後1時15分～ 本館3階302会議室
- * 定例庁議予定日 令和3年11月11日(木) 午後1時15分～ 本館3階302会議室

5 閉会

午後1時35分閉会